



No. 2813

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 事務所 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め
ロータリーライフを楽しもう



本日のプログラム

平成29年2月2日 第2814回

- ・会員卓話：児島 良宗 君
「次代に伝えたい日本の心・言葉」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

平成29年2月9日 第2815回

- ・ローテーションデー 於) 箕嶋神社
岩本 道弘 君 「神道について」
- ・ソング：「我らの生業」

前回の報告 (第2813例会)

開催日 平成29年1月26日(木)

点 鐘 (松村会長)

ゲストの紹介 (井上親睦活動委員長)

ゲスト:長洲央訓様 株式会社アレック 代表取締役社長
長洲有紀子様

米山功労者表彰



ロータリー米山記念奨学会より、中元君に「第2回米山功労者」の感謝状が届きましたので松村会長より授与されました。

会長の時間 (松村会長)

危機管理という言葉は三井物産マニラ支店長誘拐事件が起きた時に初めて聞きました。これは1986年の事件でした。外国のコンサルティング会社を通じて交渉し、誘拐から4ヶ月半後に無事開放されました。

翻って、私の仕事について思いを巡らせると、地震、火災時の避難誘導、店内での怪我、駐車場での事故などが考えられます。

普段の日常生活においてもやはり地震に備えることが

重要でしょう。家具の転倒、暖房器具や調理器具からの火災発生を防ぐ、津波から逃れるなどです。南海トラフ巨大地震等の場合、40分余の時間的余裕があります。夏の晴れた昼間であれば避難は容易です。近所の一人暮らしの家に声をかける余裕もあるでしょう。ただ、家屋やブロック塀の倒壊で避難が困難であったり、火災発生によって迂回しなければならなかったりすることも予測されます。地震発生時に悪い条件が重なって、真冬の夜風が強くと雨が降っているような場合、避難・救助・消火すべてが格段に困難になります。

私の自宅は箕島です。箕島は東西にはある程度整備された道路があります。しかし、南北にはありません。駅前通りはある程度広いですが駅で行き止まりです。箕島の北寄りに鉄道が東西に走っています。これがバリエードのようになって愛宕山の方に避難するのを妨げています。線路の向こうには巾3メートルほどの川もあります。こんな状況ですから、避難用の道路整備を行政にお願いしておりますがなかなか進みません。

先日、東燃和歌山工場で火災があり初島地区に避難指示が出されました。会員の中にも避難された方、工場の責任者、工場の中で仕事をされている会員もおられます。この火災によって今後、地域の経済にどんな影響があるのか注目していきたいと思えます。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

1. 後期会費の徴収についての納付依頼。
2. 次週2/2(木)、第8回定例理事会を開催します。
3. 川村祥子様よりお礼状が届きました。
4. 有田タイムス新年号 (掲示)
5. 他クラブ例会変更 (掲示)

出席報告 (児島例会運営委員)

本日の会員数27名
 (出席規定免除会員8名)
 出席会員数20名
 (出席規定免除会員8名)
 74.07%
 1/12 88.46%
 MU:なし

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君:長洲央訓様、有紀子様、有田RCへようこそお越し下さいました。卓話よろしくお願ひします。
 橋爪(誠)君:長洲様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。先週の文成中学校との交流、すごく楽しかったです。委員長、董涛君、ありがとうございました。
 橋爪(正)君:長洲社長ご夫妻、大変御多用な中、わざわざお越し下さいましてありがとうございます。本日、よろしくお願ひ申し上げます。
 井上君:先日、遅いながらも会社の新年会を開きました。楽しかったです。
 酒井君:長洲様、本日はようこそお越し下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。
 中元君:長洲様、本日の卓話たのしみです。よろしくお願ひ致します。
 上野山(捷)君:㈱アレック社長 長洲央訓様、有紀子様、ようこそ有田ロータリークラブへお越し下さいました。本日の卓話、楽しみにしています。

卓話

**「最新脳科学を社会に活かす！
 ～幼児教育から長寿の秘訣まで～」**



株式会社アレック
 代表取締役社長
 長洲 央訓 様

このたび有田ロータリークラブ様の卓話のご依頼を受け、お話しさせていただく内容としましては、
 ①なぜ脳の研究を始めるに至ったのか。
 ②どのような研究過程を歩んでいったのか。
 ③子供たちや高齢者への現実的アプローチと最先端研究が語る意味は。
 ④最終章としての私の願ひ。
 これらの順でお話しさせていただきます。
 私が脳に興味を持った最初のきっかけは、教え子の様

子に疑問を持ったことからです。結論から申し上げると、その子が発達障害と診断を下されてから私の研究が始まっていくのです。

まず、最初は脳に関する書籍を読み漁ることからのスタートでした。そして、内容をより深く掘り下げるために放送大学の(脳科学の進歩)と言う講座を受けるために入学をいたしました。その講座の教授陣が理化学研究所の研究者であったことから『理化学研究所と親しむ会』に入会し、様々な論文研究会を歩ませていただきました。また、その先には和歌山県立医科大学と共同で研究を行うこともでき、その上それらの研究費用も公的助成を受けるに至りました。そしてそれまでの研究の全てを注ぎ込む事で、人間の意欲を向上させ、集中力を高め、自己肯定感を上げる効果をもたらす「セレンブレイン™」と言う学習システムを作り上げることができたのです。今では和歌山市の公立小学校でも利用され、また全国の子供たちにも様々な教育機関を通じてご利用いただいております。

ふと現在までの歩みを振り返ってみると、私には色々な不思議なことが起こっていたことに気づきました。それは自分の全てのプライドや自信を脱ぎ捨てた時に、別の世界が見えてきたと言うことです。私にも教師としての多少の自信や数千人の生徒を社会に送り出してきたプライドもありましたが、それらをすべて放り出した時に「セレンブレイン™」がひらめいたのです。

最初は子供たちや高齢者の方々への貢献を願っての研究でしたが、いつしかそれが私の“使命”となってしまったのです。これからもこの“使命”を成すために、日々努力を重ねていく所存であります。

本日は、皆様にお会いできて、この出会いに心からお礼を申し上げたいと思います。
 「ありがとうございました。」

閉会・点鐘 (松村会長)

**～社会・青少年奉仕委員会～
 保田中学校での職業紹介事業**

保田中学校の1年生を対象に。当クラブ会員の職業について、業種別に職業研修授業を行います。

①平成29年2月9日(木) 14:30～15:20

- ☆介護施設(成川守彦君)
- ☆手袋製造(江川真史君)

②平成29年2月16日(木) 14:30～15:20

- ☆損保代理店(橋爪誠治君)
- ☆郵便事業(上野山捷身君)

会員の皆さまのご参加
 よろしくお願ひします。

